

ウィズコロナ・ポストコロナ時代の「真のワーク・ライフ・バランス」推進事業【京都市】

地域の実情と課題

【現状】

- ・民間企業における女性の管理職比率は、全国水準を上回っているものの依然として低い。
- ・週間就業時間60時間以上の雇用者の割合が10.0%と全国7番目の高さであることから、企業における長時間労働の是正や働き方の見直しが課題

【課題】

今後、個人、企業・組織、社会全体が発展していくためには、長時間労働を前提とした働き方の見直しや女性の活躍推進等の取組を推進し、ワーク・ライフ・バランスを実現する社会を構築することが不可欠である。

事業の特徴

- ①【経営者・管理職等の意識改革】女性活躍の取組を更に進めていくためには、とりわけ中小企業の経営層の意識改革が重要であることから、主に経営者や管理職等を対象としたシンポジウム等を開催する。
- ②【女性の就業支援及びコロナ下における雇用・就業に関する女性への影響についての情報発信】育児休業中の女性社員や就業前の女子学生を対象として、女性自らが主体的にキャリアを構築していくための講座を開催するとともに、コロナ下における雇用・就業に関する女性への影響についての情報発信を行う。
- ③【「新たな日常」における男性の家事育児参画促進】女性活躍の阻害要因となっている男性の家事育児参画を促進していくため、企業向け・男性向けの講座を開催するとともに、先進的な企業の取組事例等に関する情報発信を行う。
- ④【ウィズコロナ・ポストコロナ時代の女性活躍推進・働き方改革に係る好事例の普及・促進】コロナの拡大による暮らし方や価値観の変化を捉え、社会全体の更なる機運醸成や企業等における取組の裾野の拡大につなげるため、オンラインや民間媒体等を活用し、企業・個人の好事例やロールモデル等の発信により普及・促進を図る。

事業の効果

【経営者・管理職等の意識改革】

経営者・マネジメントの視点からの講演で、業務効率を上げるための実践的な内容も含まれており、参加者の気づきや経営戦略、今後の取組の参考になったことが、事業後アンケートからうかがえた。

【女性の就業支援及びコロナ下における雇用・就業に関する女性への影響についての情報発信】

会場開催とオンライン配信の併用としたことで、より多くの方に御参加いただけた。市内の大学と連携し、授業等で動画を配信することで、多くの人数にアプローチすることができた。

【「新たな日常」における男性の家事育児参画促進】

事業後のアンケートでは、回答者の100%が「大変良かった」又は「良かった」(1. セミナー)と回答するなど、参加者の満足度が高いことがうかがえた。

【ウィズコロナ・ポストコロナ時代の女性活躍推進・働き方改革に係る好事例の普及・促進】

オール京都体制で取り組む京都府主催事業や企業の職場環境の改善等を担う関係部局の事業と連携し、事業の情報や企業の取組の先進事例やモデルケースを共有するとともに、相互に企業や市民に向けた情報発信を行うことで、一体的な広報啓発を実施でき相乗効果を生み出した。

目的・目標

【目的】

シンポジウムやセミナー等の開催を通じて、女性活躍推進や働き方改革に向けた気運の醸成を図るとともに、企業の取組を促進することにより、男性、女性共に、仕事と生活、地域活動の調和のとれた生活を送ることができる「真のワーク・ライフ・バランス」が実現した社会を目指す。

【目標】

- ① シンポジウム参加者数 240名 ⇒ 132名 (目標達成度:55%)
- ② (女性社員・女子学生)講座参加者数 150名 ⇒ 205名 (目標達成度:137%)
- ③ (男性の家事育児参画)講座参加者数 150名 ⇒ 26名 (目標達成度:18%)
- ④「京都モデル」ワーク・ライフ・バランス推進企業認証制度の宣言企業数 3,200社 ⇒ 1,888社(目標達成度:59%)

連携団体

<「輝く女性応援京都会議」構成団体>

京都府、京都市、京都労働局、京都商工会議所、京都商工会議所女性会、京都府商工会議所連合会、京都府商工会議所女性会連合会、京都府商工会連合会、京都府中小企業団体中央会、京都府中小企業女性中央会、京都経営者協会、京都経済同友会、京都工業会、京都府商工会女性部連合会、日本労働組合総連合会京都府連合会、国際ソロプチミスト京都、国際ゾンタ京都クラブ、大学コンソーシアム京都、日本政策金融公庫、21世紀職業財団関西事務所、京都府男女共同参画センター、京都市男女共同参画センター

今後の課題

女性の活躍を推進し、男女が共に多様な働き方を実現していくために、意識啓発や人材育成等が必要であり、より事業効果の高いセミナー等の開催に取り組む。また、真のワーク・ライフ・バランスや働き方改革、女性活躍の推進に取り組む企業やロールモデルを発掘し、取組が地域全体に広がるよう、効果的な広報・啓発に取り組む。また、内容や実施方法について、新型コロナウイルスによる課題や価値観の変化に対応していく必要がある。

事業の概要①

■京で輝く！女性活躍推進シンポジウム ～変化の時代を+（プラス）で乗り切る企業戦略～

日 時 令和3年10月22日（金）14：00～16：30（別途、基調講演のみ後日オンライン配信）

参加者数 会場95名、オンライン37名

内 容 「多様な人材が活躍できる組織づくり」をテーマに、シンポジウムを開催した。

■基調講演「“自分らしさ”を活かせる環境が企業を成長に導く」

講師：上田セシリア氏

（アマゾンジャパン コーポレート人事本部 ディレクター）

■パネルディスカッション

「教えて！女性活躍 多様な人材が活躍できる仕組み」

モデレーター：村上 圭子氏（公益財団法人 京都文化交流コンベンションビューロー専務理事）

パネリスト：安藤 孝夫氏（三洋化成工業株式会社 取締役会長）

伊藤 尚志氏（デロイト トーマツ コンサルティング合同会社 関西ユニット パートナー）

上田 セシリア氏（アマゾンジャパン コーポレート人事本部 ディレクター）



事業の概要②

■女性の就業継続支援講座（働くママを応援！育休からの復職準備講座）

開催日時	(オンライン) 令和3年7月16日(金) (対面) 第1回 令和3年10月7日(木) 第2回 10月14日(木) 第3回 10月28日(木) (座談会)
会場	京都市男女共同参画センター ウィングス京都
参加者数	のべ30名
内容	<p>育児休業中の女性社員が安心して職場復帰し、育児と仕事の両立に向け主体的にキャリア構築していけるよう、就業継続支援のための講座及び交流会を開催した。</p> <p>(オンライン) 復職前にやっておくべきことやポイントについて</p> <p>(対面) 第1回 産休・育休中に感じている不安は何？ 第2回 先輩ママの事例を参考に、自分だけの両立キャリアを描こう 第3回 みんなで話してみませんか？ママ達の座談会</p> <p>講師：畠中直美氏（一般社団法人チャレンジドLIFE代表・キャリアコンサルタント）</p>

★オンラインセミナー★受講料無料★

働くママを応援！ 育休からの復職準備講座

7月16日(金) 14:00~15:30

講師：畠中直美
（一般社団法人チャレンジドLIFE代表・キャリアコンサルタント）
対象：現在育児休業中または育児休業取得中の方
定員：20名（先着順）
締切：7月9日（金）必着

★ホームページからお申し込みください。

【講師プロフィール】
産休・育休を経て、復職、育児と仕事の両立を支援するキャリアコンサルタント。産休・育休中のママの悩みや不安を解消し、安心して職場復帰できるようにサポート。また、産後うつや育児ストレスの軽減にも取り組んでいる。

【お申し込み・お問い合わせ先】
【主催】京都市男女共同参画推進協会 事業企画課
〒600-8114 京都市中京区東本町二丁目2番地22号
TEL:075-222-2140
E-mail: jgpc@cityofkyoto.jp URL: https://wing.kyoto.jp

働くママを応援！ 育休からの復職準備講座

無料

【開催日時】
①7月16日 14:00~15:30
②10月7日 10:00~11:30
③10月14日 10:00~11:30
④10月28日 10:00~11:30

【対象】
現在育児休業中または育児休業取得中の方

【定員】
20名（先着順）

【締切】
7月9日（金）必着

【お申し込み・お問い合わせ先】
【主催】京都市男女共同参画推進協会 事業企画課
〒600-8114 京都市中京区東本町二丁目2番地22号
TEL:075-222-2140
E-mail: jgpc@cityofkyoto.jp URL: https://wing.kyoto.jp

■女子大学生と考える女性活躍

開催日時	令和3年6月28日(月), 12月9日(木), 令和4年1月20日(木)
参加者数	175名
内容	<p>女子学生を主な対象として、仕事を続けることを念頭に置いて自身のキャリアを考えてもらうため、「私が自分らしい働き方をするために選択してきたこと」～人生のライフステージで考えたこと～をテーマにした座談会の動画を活用し、大学との連携によるセミナーを開催した。</p> <p>(動画内) モデレーター：円城新子氏（株式会社ユニオン・エー代表取締役・出版社編集長）</p>

事業の概要③

■ 男性の家事育児参画セミナー(今こそ、男性版産休を考える)

開催日時	令和4年1月28日(金) 14:00~16:00 (オンライン配信に変更して実施)
参加者数	26名
内容	<p>男性の家事育児への参画を促進するため、主に企業の社員を対象として、先進的な取組を行う企業と男性ロールモデルを講師に迎えた講座を開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 講演「46歳で父になった社会学者」が育児を通して考えたこと 講師：工藤保則氏(龍谷大学社会学部教授) ■ 制度解説 京都労働局 ■ 事例紹介 森島寿夫氏(京都中央信用金庫八幡支店支店長) 高堂郁也氏(京都中央信用金庫八幡支店主任)



■ 初めて父親になる男性のための育児講座

開催日時	第1回 令和3年5月22日(土) (オンライン配信) 第2回 6月5日(土) (オンライン配信) 第3回 6月19日(土) (オンライン配信)
参加者数	のべ37名
内容	<p>これから父親になる男性を対象に、出産や育児に関する基本的なことについて学ぶ講座を開催した。 (男性の育休制度ってどんなこと? 育休取得の秘訣/赤ちゃんと暮らすことで、自分たちの生活はどう変わっていくのか/赤ちゃんと遊び方、パートナーとのコミュニケーション) 講師：篠田厚志氏(NPO法人ファザーリングジャパン関西理事・元大阪府職員) 川内恵美子氏(兵庫医療大学看護学部講師・助産師・保健師・看護師・養護教諭) 阿川勇太氏(兵庫県医療大学看護学部助教・保健師・看護師・保育士/ NPO法人ファザーリングジャパン関西副理事長)</p>



事業の概要④

■女性活躍推進・働き方改革に係る先進企業やロールモデルの発掘・発信

内 容

1 概要

新型コロナウイルス感染症の拡大を契機とした暮らし方や価値観の変化を捉え、社会全体の更なる機運醸成や企業等における取組の裾野の拡大につなげるため、令和元年度に大幅リニューアルを行った本市WEBサイト「京都style真のワーク・ライフ・バランス応援WEB」や、昨年度リニューアルした「京都ウィメンズベースウェブサイト」、市内事業所や地下鉄駅等で広く配布される民間フリーペーパー（4万部発行）、情報誌（8万部発行）等の民間媒体を活用し、先進的な取組を行う企業やロールモデルとなる個人に焦点を当てた広報・啓発活動を実施するとともに、前述の応援WEBの周知のためターゲットを限定したSNS広告を行った。

また、女性活躍推進等のための諸課題について市民の意識やニーズ、計画及び施策の進捗状況を把握し、より効果的な広報啓発を行うため、インターネットアンケートを実施した。

2 実施時期等

- ・本市WEBサイトを活用した広報啓発 令和3年4月～令和4年3月
- ・民間フリーペーパーを活用した広報啓発 令和3年10月～令和4年2月
- ・SNS広告 令和4年3月
- ・インターネットアンケート 令和4年2月

